

地域医療支援を目指した 札幌医科大学の多職種連携教育



対 象： 医学部・保健医療学部の第1～4学年

内 容： 両学部合同で学内・外で教育
(講義、グループ学習、地域滞在型体験学習)



健康保障の問題 (Problems in Health security)

人口転換、疫学転換における、新種の感染、環境、行為の危険は健康保障を脅かす。

(New infectious, environmental, and behavioral risks, at a time of rapid demographic and epidemiological transitions, threaten the health security of all)

“専門教育はこれらの問題について対応していない。それは、断片化していて、時代遅れで、全く変えていないカリキュラムのせいである。

(Professional education has not kept pace with these challenges, because of fragmented, outdated, and static curricula)”

Frenk J et al, 2010; Lancet, 376: 1923-1958



問題点:

- 必要とされる専門職者の間違った組み合わせ (Mismatch of competencies to needs)
- チームワークのまずさ (Poor teamwork)
- 性別による階層化 (Persistent gender stratification)
- 全体の把握がない、狭い専門の重視 (Narrow technical focus without broader contextual understanding)
- 一時的な出会い (Episodic encounter)
- 大病院志向 (Predominant hospital orientation)
- 専門職者の労働市場の不均衡 (Imbalance in the professional labor market)
- リーダーシップ不足 (Weak leadership)



多職種連携教育 Interprofessional education (IPE) の必要性

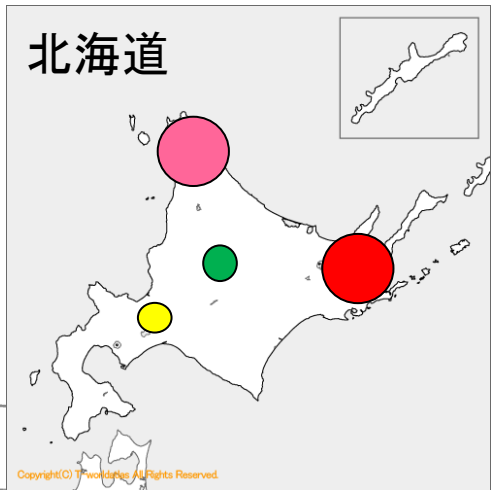


- 高齢化の進展に伴う要介護者の増加
- 生活習慣関連疾患の増加や疾病構造の多様化
- 高度医療の要望
- 患者の権利意識や多様な医療要求の増大
- 疾病の診療にとどまらない幅広い医療活動のニーズ
- 医療従事者の偏在による医療過疎化の促進

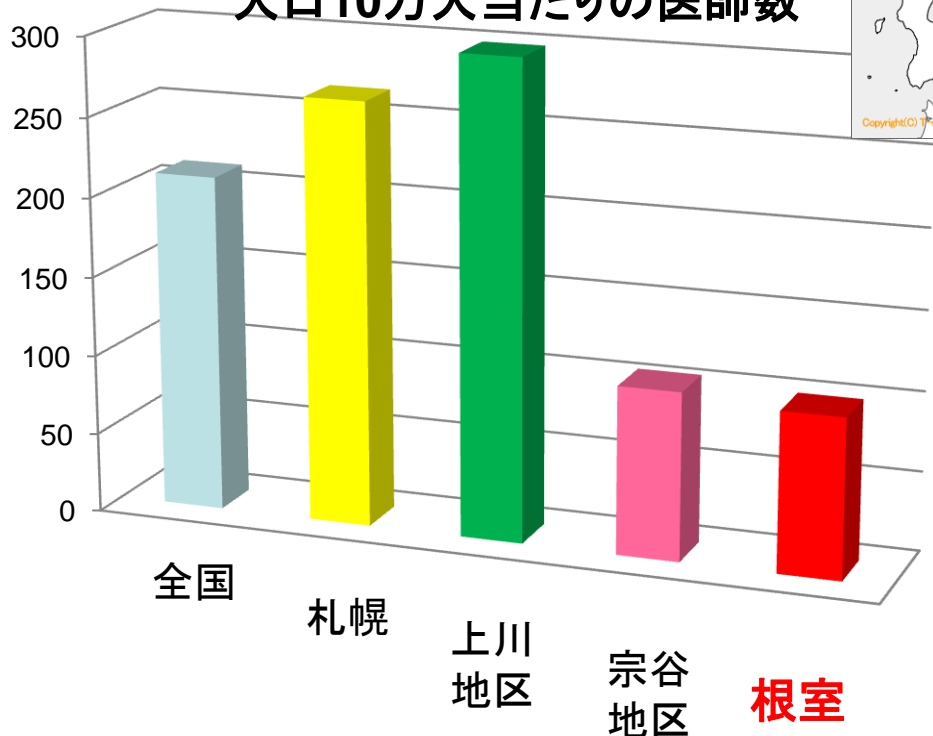
<遠隔地域では>

- 高度医療サービスを受けることができる所から離れている
- 健康増進と疾病予防が重要

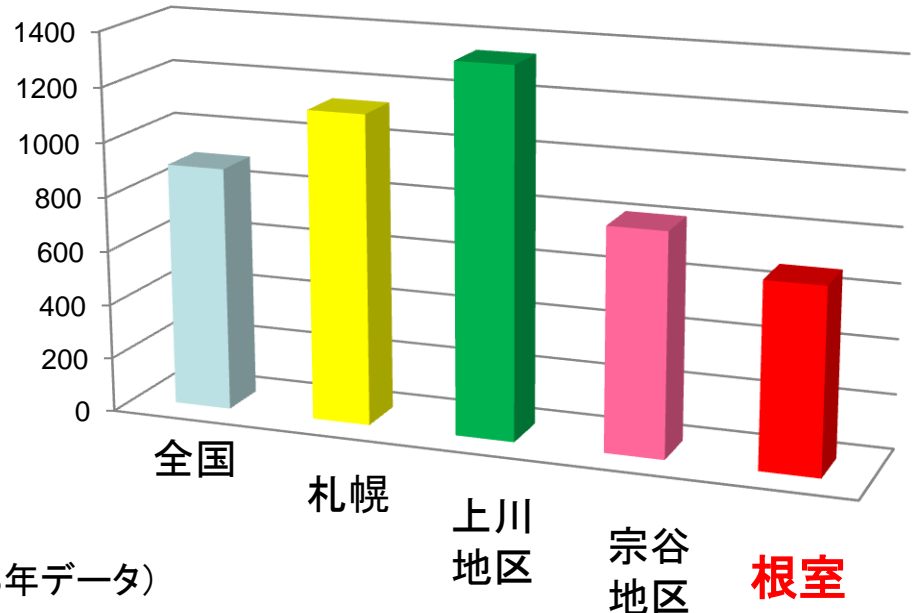
北海道における他職種連携教育(IPE)の必要性(背景)



人口10万人当たりの医師数



人口10万人当たりの看護師数 (看護助手を含む)



(2005年データ)



地域住民の健康維持

使命感

効力感

志向性

理解

関心

地域医療マインドの醸成

- 地域医療マインド
- パートナーシップ力

地域

集団

家族

個人

対象（パートナー）の拡大



学部一貫教育による地域医療マインドの形成(選択科目)

臨地実習:

地域医療基礎実習
(利尻島、留萌市)
8月:3~5日間

**地域密着型
チーム医療実習**
(根釧地区)
8月:6日間

一貫教育:
(講義・演習)

1学年 前期 後期		2学年 前期 後期		3学年 前期 後期		4学年 前期
到達目標		到達目標		到達目標		まとめ
関心を持つ		課題を探る		支援を考える		
人への 関心	体制へ の関心	地域住民 の課題	地域体制 の課題	個別支援	地域支援	
地域医療合同セミナー						

学習目標: 北海道の地域医療の現状への理解を深め必要とされる支援策の検討を通じて、自らの役割を意識化する



学年	学習課題	内容
1	地域医療・ パートナーへ の関心の形成	<ul style="list-style-type: none"> ①コミュニケーション演習 ②多職種理解のためのグループ学習 ③地域特性理解のための学習
2	課題の探究	<ul style="list-style-type: none"> ①地域住民との対話と理解 ②地域医療者との討論 ③地域行政担当者との討論 ④地域の健康課題に関するグループ学習
3	支援策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ①個人・家族・集団の健康課題への支援 ②健康づくりに関する支援策の考案 ③地域医療における行政の課題に関する討論
4	成果の発表	新入生、高校生への学習報告、ポスター発表・学内外関係者への報告、Best of Portfolio & Poster表彰



1学年(方略:講義、グループ学習、フォトボイス、臨地実習等)

- グループダイナミクス(4学科合同)の理解
- 健康理解
- 地域の暮らしと健康課題
- 多職種理解

2学年(方略:講義、グループ学習、パラレルチャート、施設見学等)

- 地域の健康課題解決策の考案
- 既習の学習経験から、地域資源を調べる(保健センター、保健所、訪問看護ステーション、老人保健施設など)
- 地域資源マップ作成

3学年(方略:講義、グループ学習、症例検討、臨地実習等)

- 北海道における地域医療計画、医療供給体制理解
- 実習地に暮らす健康問題について、パラレルチャートを用いた事例検討
- 一次予防の実践